



主 体 内 容

- 1~2……子育ての強い味方！主任児童委員
- 3……出前トーク承ります
- 4……6月の相談、国津の杜の行事、テレビのデジタル移行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

市内には、ボランティアで生活上のさまざまな悩みを持つ人の相談や支援をする民生・児童委員がいます。その中でも、特に地域の子育て支援や、不登校・虐待といった児童に関する相談などを中心に担当しているのが主任児童委員です。

今号では、主任児童委員の活動をご紹介します。

健康福祉政策室 ☎63-7579

## 子育ての強い味方！ 主任児童委員

孤立した子育て、孤独な子育てを無くす取組み

主任児童委員は、平成6年に児童福祉に関する事項を専門的に担当する児童委員として設置されました。

児童虐待や育児ノイローゼなどが社会問題となる中、主任児童委員や児童委員は地域から孤立した子育てや、孤独な子育てを無くす取組みを進めています。

その第1歩となるのが、生後4カ月までの赤ちゃんがいる家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」。主任児童委員が中心になり乳幼児家庭全戸を訪問し、子育て支援に関する情報提供をするほか、子どもの生活環境を把握し、支援が必要な家庭に対しては、適切なサポートに結び付けていきます。

子育てで不安なことはありませんか？

ほかの人は子育てをどうしているのかなって不安ですね



主任児童委員 平見 真由美さん

主任児童委員が行う「こんにちは赤ちゃん訪問」

「地域のみなが子育てを応援しているよ」と伝えたいと話するのは、主任児童委員の平見真由美さん。多くのお母さんは、子育てに少なからず不安を感じています。特に、実家が遠方など、近くに子育てを助けてもらえる人がいない人ほど、不安を感じているようです。わたしたちが、直接お母さんと話をすることで、不安を解消して、元気になるてもらえたらうれしいですね」と話します。

地域には子育てを支えてくれる人がたくさんいる

この日訪問した三河内さんは、「結婚するまでは、大阪に住んでい

たので、名張市には友達が少ないので、ほかの人は、子育てをどうしているのかなって不安になります」と悩みを話します。すると、平見さんは「桔梗が丘公民館で毎月第3火曜日に『ききょうなかよしひろば』をしているので、柚希ちゃんと一緒に参加して、いろんなお母さんの話を聞いてみてはどう」と地域の広場(※)を案内しました。

「赤ちゃんが1歳くらいになるまでは、不安や悩みがあっても当たり前。『わたしが子育てをすべてしなければいけない』と思うより、地域には、たくさん子育てを支えてくれる人がいると思って、楽しく子育てしてほしいですね。わたし自身その頃が一番友達もでき、一番楽しい時期もありました。子どもがいるから楽しめる、そんな時期なのではないでしょうか」と平見さんは訴えます。

※「地域の広場」

各地域には、親子で気軽に遊べる「地域の広場」があります。例えば、つつじが丘公民館で開催される「おじゃまる広場」には、たくさんのお母さんが参加しています。以前は、生後6カ月以降の赤ちゃんを連れてお母さんが多かったようですが、主任児童委員が「こんにちは赤ちゃん訪問」で紹介することで、生後3、4カ月の赤ちゃんと一緒に参加するお母さんも増えていきます。

「ママ友達を作りに来ました」というお母さんも多く、お母さん同士が子育ての話などで盛り上がるということが多くあります。

主任児童委員の草部豊美さん(左写真右から2人目)は、「2人目が生まれ、赤ちゃんにかかりきりで、お兄ちゃん、お姉ちゃんと遊ぶ時間がないというお母さんにも参加してほしいですね」と話します。



▼各地域の広場の開催日などは、こども支援センターかがやき(☎67-0250)へお問い合わせください。

「かがやき」や地域の広場の情報は、携帯版市ホームページにも掲載しています。

